

## 沖縄における緑化樹木の剪定マニュアルについて

(一財) 沖縄美ら島財団総合研究センター 研究第二課長      ◎宮里 政智  
研究第二課      ○阿部 篤志

### 1. 目的

公園・道路の植栽木の健全な育成と美観を維持するためには、樹木剪定が欠かせない。沖縄県内では、設計から管理までをまとめた「おきなわ緑の道しるべ・沖縄道路緑化技術指針（1996 年、沖縄総合事務局監修）」や「沖縄県道路植栽樹木等維持管理マニュアル（1993 年、沖縄県編著）」等が活用されているが、樹種特性に応じた剪定技術の詳しい記載は少ない。また、全国版の「街路樹剪定ハンドブック（2006 年、日本造園建設業協会監修）」が刊行されているが、沖縄の環境に即したものではない。

このことから、既存剪定技術の現状の把握を行い、その課題を整理し、樹木を健全に育成するための沖縄独自の緑化樹木剪定マニュアルを作成し、普及啓発のツールとすることを目的とする。

### 2. 内容

#### (1) 既存知見の収集・整理

国内における剪定技術に関する既往マニュアル等の内容を確認し、現状の問題点、課題の把握を行い、沖縄の亜熱帯気候、台風常襲地などの独自性に配慮した緑化樹木剪定マニュアルの策定のため、基本的考え方の整理と課題抽出を行った。

#### (2) 剪定追跡調査

沖縄本島内の緑化樹木 15 種 26 本を追跡対象木とし、樹形計測（樹高、枝張り）および定点からの写真撮影を行い、樹形の回復の早さの傾向を確認した。

#### (3) モデル剪定調査

沖縄の緑化樹木における代表的な樹種の剪定に関する特性を把握するため、11 種 18 本について、剪定パターン（剪定頻度および時期）を変え、出芽・萌芽、樹冠形成などの状況の違いを確認した。

#### (4) 緑化樹木の剪定マニュアル作成

(1) ～ (3) の結果より沖縄の特異性に配慮した緑化樹木剪定マニュアル案を作成し、実務担当者等へのヒアリングで内容を吟味し、公園樹、街路樹、庭園樹に共通するマニュアル作成を目標として緑化樹木剪定マニュアルを作成した。

### 3. 結論

平成 22 年度から平成 25 年度までに、既存知見の収集・整理や剪定追跡調査、モデル剪定調査等を実施し、今回、沖縄県内における緑化樹木の剪定技術の向上に寄与するべく、沖縄県の特異性に配慮した緑化樹木剪定マニュアルを作成した。

### 4. 今後の問題点

- ・緑化樹木剪定マニュアルの印刷、頒布、講習会や実習等を通して、公園等を設計・管理を行う発注者、受注者、そして一般へ普及していく必要がある。
- ・剪定技術は、今後さらに進展していく事が予想され、枝葉の伸長、開花における季節変化と、それらをコントロールする知見を反映させ随時改訂していく必要がある。